

1. 避難訓練

①【避難経路】

火災などの際には、誘導灯などを目印に非常口から階段に出て、落ち着いて地上まで避難します。いざという時に慌てないように、常日頃からお住まいのマンションや勤務されているビルなどの非常口や避難経路を確認しておいてください。



②【煙のこわさ】

火災で亡くなった人の死因の第一位は煙によるものです。

避難の際に煙に巻き込まれないよう姿勢を低く保ち、煙を吸い込まないように口や鼻をハンカチなどで覆います。

また、煙の拡散、流入を防ぐため、各室や非常口のドアは避難の際に閉めてください。

③【避難のポイント】

- ・ 停電などで停止することがあるので、エレベーターでの避難はしないでください。
- ・ 建物によっては、ベランダやバルコニーなどに避難はしごなどの避難器具が設置されている場合もあります。これらは階段が使えない場合などの最終手段ですが、機会があれば設置場所や使用方法などを確認しておいてください。
- ・ 大きな声で避難誘導したり、お年寄りや体の不自由な方を手伝ったりして、全員が確実に避難できるよう、力を合わせて行動してください。
- ・ 消防隊に報告するため、安全な場所に避難した後、逃げ遅れた人がいないか、けが人がいないかを、可能な範囲で確認してください。

避難の時の障害にならないよう、
日頃から階段や通路、避難口周辺に物は置かないようにしましょう。
また、消火活動や延焼防止の妨げにならないよう、
消火器、消火栓、防火扉の周囲は、常に整理整頓を心がけましょう。

